



令和6年度 進路だより



令和6年4月26日 発行
南風原町立 南風原中学校
発行者(進路担当) 与那嶺

4月から意識して取り組もう!

「進路学習って中学3年生になってから取り組むもの」という意識はありませんか？

進路学習とは、ただ高校入試に向けて受験勉強に取り組むことではありません。将来にわたって、自分はどのような仕事に就き、どのような人間になって、どのような人生を歩んで行くのか考え、その実現に向けて取り組んでいくことが進路学習です。

中学校に入学したばかりで卒業後のことはこれから考える1年生も、いよいよ高校入試へ向けての取り組みが本格化してくる3年生も、高校入試まではまだ時間があると考えている2年生も、今の段階で改めて次の3点を見つめ直してみましょう。

【見つめ直す①】 ゴールはもっと先!!

「高校に合格すること」が最終目標になっている人はいませんか？

高校とは、長い人生の中のひとつの通過点でしかありません。まずは理想の人生像を描き、その実現に必要なことは何かを考えた上で、高校への進路選択は行いましょう。

自分ひとりだけで考えるのではなく、友達と意見交換をしたり、家族や親戚の人の話も聞いて、また様々な人の体験談も参考にすると、より良い未来が見えてくるはずですよ。

【見つめ直す②】 今の考えでOK!!

皆さんの周りの大人たちも、長い人生の中で夢は変化してきました。時には、夢を失ってしまう経験もありました。しかし、悩みながら試行錯誤を繰り返して、新しい夢や理想の人生に向けて歩もうと、今も頑張り続けています。

中学生だって、途中で夢が変わっても良いのです。まだ夢が見つからなくても大丈夫ですよ。大切なのは、「夢を探し、夢を叶えようとすることを諦めない」ことです。

今はまだはっきりと将来の夢を持つことができず、どのような進路選択をすれば良いのか分からない人は、自分の得意なことや自分の良い面を考えたり、友達に尋ねたりして、自分自身のことをもっと知りましょう。そして、「人を助けたい」「田舎で生活したい」「有名になりたい」など、今考える理想の人生像だけでも自分の中に持ちましょう。

【見つめ直す③】 変化を前提に行動!!

「なれる自分」を広げておくと、将来の夢がどのように変化しようと、道に迷うことなく進むことができます。いろいろなことに興味をもって取り組み、様々な教科の学習をしっかりと深めていくことで、状況の変化にも対応できる人間になれます。

入試対策 虎の巻

今年度から、沖縄県立高校の入試制度が大きく変わります。推薦入試が廃止され、特色選抜制度が新設されました。

特色選抜 学力検査 + 調査書 + 各高校が独自に設定した試験
(個人面接、集団面接、口頭試験、実技検査、作文、プレゼンなど)

一般入試 学力検査 + 個人面接 + 調査書
※調査書とは、中学校3年間の評定や出席状況、実績を記載したもの

特色選抜では学力検査が必須になったことから、一般入試と同様に学習を深める必要があります。また、ただ単にテストの点数さえ取れたら良いというのではなく、中学校生活での様々な学びや取り組み、生きる力が試されます。

新しい特色選抜も一般入試も、対策の基本はこれまでと同じ！

【1】早い時期から検定・資格の取得をしよう！

英検・数検・漢検は、中学3年の12月までに、3級以上の取得を目指しましょう。検定は、自分の頑張りや成長の度合いを測るのに最適です。1年生や2年生も、今のうちから計画的に検定・資格の取得を励むことで、自分を知り、落ち着いて受験を迎えることができます。

【2】様々な活動にチャレンジして、文武両道を実現しよう！

毎年、絵画や書道、作文、スピーチといった様々なコンクールの募集があります。勉強だけでなく文化活動にも積極的に取り組みましょう。出品に値する作品の完成を目指して、各教科の学習では知識だけでなく技能も高めていきましょう。

同様にスポーツ活動も、中体連をはじめとした各種大会があります。部活動も学習の一環であると捉えて、自分や仲間の技能、そしてチームワークをより良く高めるにはどうしたら良いのか、考えながら活動に取り組みしましょう。

【3】日々の授業を大切に、勉強はコツコツと！

文武両道を実現している人の多くが、毎時間の授業をとっても大切にしています。授業の中で真剣に学ぶことで、予習や復習の時間を短くすることができ、その分の時間を様々な活動に回すことができるからです。

また、特色選抜で問われるプレゼン能力や、集団面接でより良く発言する能力というのは、授業の中でのグループ活動や学び合いで育まれます。授業は学びの宝庫です。自分を成長させるという意識をもって、積極的に授業へ参加しましょう。

【4】集中と休養のタイムマネジメントを大切に！

「部活動で疲れて勉強ができない」という意見があります。授業中に居眠りをしたり勉強が手につかなくなったりするのは、十分に休養と睡眠が取れていないことが原因です。

部活動中にダラダラと活動して、練習時間を余計に増やしていませんか。勉強中についついスマホを触ってしまい、課題にかける時間を長くしていませんか。非効率な練習や学習では、時間ばかりを浪費してしまい、成果も上がらないまま疲れだけが溜まっていきます。決まった時間内で集中して取り組み、頭や心、体を十分に休ませる時間も確保しましょう。